

## 1年当たりの森林の林木(幹・枝葉・根)による炭素吸収の平均的な量

○前ページで算出された炭素量を使って、1年当たりの炭素吸収の平均的な量を計算してみました。

### 1年当たりのおおよその炭素吸収量

(単位：トン/ha・年)

	20年生 前後	40年生 前後	60年生 前後	80年生 前後
スギ	3.3	2.3	1.1	0.8
ヒノキ	3.1	2.0	1.1	0.3
天然林広葉樹	1.4	1.0	0.3	0.1

この炭素量を二酸化炭素の重さに換算するためには、炭素量に44/12(≒3.67)を乗じます。

各林齢における炭素吸収量の求め方は以下のとおり。

20年生：(4 齢級の炭素量 - 3 齢級の炭素量) ÷ 5 年

40年生：(8 齢級の炭素量 - 7 齢級の炭素量) ÷ 5 年

60年生：(12 齢級の炭素量 - 11 齢級の炭素量) ÷ 5 年

80年生：(16 齢級の炭素量 - 15 齢級の炭素量) ÷ 5 年

※ 炭素吸収量は、同じ樹種であっても地域、立地環境等の要因により異なります。本表の値はあくまでも平均的な値を示す性格のものです。